

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 9月25日更新

事務事業名		新エネルギー利活用情報提供事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進		所属課	環境衛生課	担当者名	上村 恭子
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進		所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 10184	根拠法令		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	新たな燃料やエネルギーに関する情報を収集する事業で、周知を図り、その利活用を推進する事務である。実際には、新エネルギーを活用する部署等が、内容によって異なるため、活用のための協議、上位機関への申請窓口と協力体制の事務局的役割を行なう内部事務である。新エネルギーの概念は広く、化石燃料以外のエネルギーを指し、太陽の光と熱や風力などの自然エネルギー利用、水力、地熱といった伝統的エネルギー、また、廃棄物やバイオマスの活用も含まれる。さらにはコージェネレーション(エネルギーの複合利用)や燃料電池のようなエネルギーの新しい利用方法もあり、多岐に亘っている。地球温暖化防止啓発事業(10180)にて今後、周知・啓発活動を行っていくため統合廃止する。
【業務の流れ】	新エネルギーに関する情報を関係部署等へ周知する。利活用に至る事務的な窓口、補助的な業務を行なう。
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	議会からは、バイオマスタウン構想について、本市の取り組み姿勢に対する一般質問があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
新エネルギーに関する情報の収集・必要な情報を関係部署等へ周知した。熊本連携中枢都市圏における地方公共団体実行計画及び地域エネルギービジョンの共同作成に関する会議に出席した。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 新エネルギーに関する情報の受入れ件数	件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
庁内の全部署	→ ア: 庁内部署数	課等
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
新エネルギーに関する情報が入手できる。	→ ア: 新エネルギーに関する情報周知件数	件
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
情報提供事務のため、関連する情報の周知件数にしている。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	件	0	0	2	1				
② 対象指標	ア	課等	24	28	29	30				
③ 成果指標	ア	件	0	0	2	1				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	1				
	延べ業務時間	時間	4	4	5	5				
	(B)人件費計	千円	15	15	19	19				
トータルコスト(A)+(B)		千円	15	15	19	19				

事務事業名	新エネルギー利活用情報提供事務	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 環境衛生課へ情報提供があったものは各課へ情報提供しているが、直接担当部署へ情報提供されるものもあり、提供件数がなかった。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 本年度は情報提供はなかったが、関連部署への情報提供周知件数のため、過去数年の実績値を基に設定しており、達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後、新エネルギーに関する情報に関心が高まることが予想されるが、直接関係部署へ情報提供があることもあり、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 新エネルギーに関する情報提供事務に類似する事務は他になく、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現時点で、事業費は発生していない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 庁内の情報収集元となる事務は必要であり、業務の時間等を短縮する余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 情報発信であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 庁内の関係部署に周知する事務であるため、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

新エネルギーは、化石燃料以外のエネルギーを指し、太陽の光と熱や風力などの自然エネルギー利用、水力、地熱といった伝統的エネルギー、また、廃棄物やバイオマスの活用も含まれる。現状は、太陽光発電や廃棄物関係など、環境衛生課へ直接情報提供されるものが多いため効率的と思われる環境衛生課に、企画課から事務事業を移管した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						